

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2018年8月8日

【四半期会計期間】 第91期第1四半期(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

【会社名】 フジオーゼックス株式会社

【英訳名】 FUJI 00ZX Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 辻 本 敏

【本店の所在の場所】 静岡県菊川市三沢1500番地の60

【電話番号】 (0537)35-5873

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員統括本部長 藤 川 伸 二

【最寄りの連絡場所】 静岡県菊川市三沢1500番地の60

【電話番号】 (0537)35-5873

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員統括本部長 藤 川 伸 二

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

(注) 第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第90期 第1四半期 連結累計期間	第91期 第1四半期 連結累計期間	第90期
会計期間	自 2017年4月1日 至 2017年6月30日	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2017年4月1日 至 2018年3月31日
売上高 (千円)	4,810,077	5,464,077	20,822,986
経常利益 (千円)	374,646	260,724	1,722,879
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	249,394	175,176	1,162,199
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	297,630	392,830	1,253,008
純資産額 (千円)	24,387,015	25,488,216	25,218,629
総資産額 (千円)	30,899,284	33,805,543	34,248,010
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	121.41	85.28	565.78
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	75.8	72.6	70.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 2017年10月1日付で普通株式10株について1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社企業集団において営まれている事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(1) 経営成績

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国につきましては、北朝鮮や中国との政治的動向に対する懸念もありましたが、雇用情勢・企業収益の好調が継続したこともあり、個人消費や設備投資も概ね堅調な推移となりました。欧州につきましても、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は緩やかな回復基調に推移しました。

中国は、内外需要が堅調さを維持しており、世界経済の回復を背景にした輸出の拡大が生産の拡大をけん引したため、個人消費や設備投資も継続的に堅調に推移し、同様にアジアの新興諸国経済も底堅く成長を続けました。一方、米中の貿易摩擦や中東等の地政学的リスク等による世界経済発展の不確実性の増大により先行き不透明な状態は継続しております。

国内経済は、輸出や国内生産に加え、個人消費や設備投資なども総じて回復し、企業収益は堅調を維持するなど、景気は全般的に緩やかな回復基調が続いております。

当社グループの属する自動車業界につきましては、北米全需は前年同期と同水準で推移しておりますが、日系メーカーは前年同期を割り込む販売となっております。中国全需につきましては、前年同期を上回る市場拡大が継続する中、日系メーカーも、全需に対してはやや下回りますが、引続き堅調な販売となりました。

一方、国内需要は、昨年一部の顧客にて発覚した不正検査問題の影響も残りましたが、軽自動車の販売好調に支えられ、全体的には前年同期並みに堅調に推移しました。

このような市場環境の中、当社グループは、海外の生産拠点を活用した現地市場への販売が増加し、前年同期に比較し海外販売が84%の増加となりました。

国内は、事業統合効果に加え、新たな主力製品であります中空バルブの好調な販売等により、前年同期比3%の販売増となり、国内外を合わせると14%の販売増となりました。

しかしながら、利益につきましては、新製品の傘中空バルブ生産立ち上げの為の減価償却費や労務費、外注加工費の増加等により、前年同期を下回る利益となりました。

以上の結果、売上高は5,464百万円（前年同期比654百万円増）、営業利益は198百万円（前年同期比111百万円減）、経常利益は261百万円（前年同期比114百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は175百万円（前年同期比74百万円減）となりました。

なお、当社グループは、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は33,806百万円となり、前連結会計年度末に比べ442百万円減少しております。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は15,537百万円と前連結会計年度末に比べ939百万円減少しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・資金の返済等により現金及び預金が965百万円減少しております。
- ・受取手形及び売掛金が196百万円減少しております。
- ・仕掛品が200百万円増加しております。
- ・原材料及び貯蔵品が111百万円増加しております。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は18,269百万円と前連結会計年度末に比べ497百万円増加しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・設備購入により有形固定資産が498百万円増加しております。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は6,823百万円と前連結会計年度末に比べ558百万円減少しております。主な要因は次のとおりであります。

- ・資金の返済により短期借入金が219百万円減少しております。
- ・1年内返済予定の長期借入金が104百万円増加しております。
- ・納付等により未払法人税等が345百万円減少しております。
- ・流動負債(その他)に含まれる未払金が、設備代金の支払い等により177百万円減少しております。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は1,494百万円と前連結会計年度末に比べ155百万円減少しております。主な要因は次のとおりであります。

- ・長期借入金が160百万円減少しております。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は25,488百万円と前連結会計年度末に比べ270百万円増加しております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は64百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2018年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2018年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,055,950	2,055,950	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は 100株であります。
計	2,055,950	2,055,950	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2018年4月1日 ~ 2018年6月30日		2,055,950		3,018,648		2,769,453

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2018年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,052,300	20,523	-
単元未満株式	普通株式 1,750	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	2,055,950	-	-
総株主の議決権	-	20,523	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権の数1個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式5株が含まれております。

【自己株式等】

2018年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) フジオーゼックス株式会社	静岡県菊川市三沢 1500番地の60	1,900	-	1,900	0.09
計	-	1,900	-	1,900	0.09

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,760,006	4,795,078
受取手形及び売掛金	5,443,865	5,247,480
商品及び製品	1,811,797	1,865,971
仕掛品	1,317,103	1,517,600
原材料及び貯蔵品	1,388,735	1,499,804
その他	762,326	618,722
貸倒引当金	8,000	8,000
流動資産合計	16,475,833	15,536,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,711,748	4,757,689
機械装置及び運搬具（純額）	7,857,432	8,657,286
土地	3,174,122	3,234,582
その他（純額）	1,488,994	1,080,906
有形固定資産合計	17,232,296	17,730,464
無形固定資産		
その他	161,144	155,940
無形固定資産合計	161,144	155,940
投資その他の資産		
その他	406,087	409,735
貸倒引当金	27,350	27,250
投資その他の資産合計	378,737	382,485
固定資産合計	17,772,177	18,268,889
資産合計	34,248,010	33,805,543
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,124,255	3,116,204
短期借入金	1,068,917	850,160
1年内返済予定の長期借入金	42,480	146,121
未払法人税等	437,833	92,720
賞与引当金	96,969	45,544
役員賞与引当金	51,900	-
その他	2,558,310	2,572,415
流動負債合計	7,380,664	6,823,164
固定負債		
長期借入金	1,563,769	1,404,039
役員退職慰労引当金	2,325	1,400
退職給付に係る負債	71,733	77,826
その他	10,891	10,898
固定負債合計	1,648,717	1,494,163
負債合計	9,029,381	8,317,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,800,499	2,800,499
利益剰余金	18,902,586	18,954,519
自己株式	9,308	9,308
株主資本合計	24,712,424	24,764,357
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	102	1,099
為替換算調整勘定	332,454	117,447
退職給付に係る調整累計額	118,830	112,206
その他の包括利益累計額合計	451,182	230,752
非支配株主持分	957,387	954,612
純資産合計	25,218,629	25,488,216
負債純資産合計	34,248,010	33,805,543

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	4,810,077	5,464,077
売上原価	3,798,503	4,483,099
売上総利益	1,011,574	980,978
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	210,816	248,421
荷造運搬費	154,098	162,687
賞与引当金繰入額	5,016	1,262
退職給付費用	18,746	14,308
その他	313,778	356,192
販売費及び一般管理費合計	702,454	782,869
営業利益	309,120	198,108
営業外収益		
受取利息	3,731	2,571
受取配当金	310	310
受取賃貸料	16,155	18,741
為替差益	68,275	38,032
受取補償金	-	13,960
その他	10,170	20,617
営業外収益合計	98,641	94,230
営業外費用		
支払利息	2,928	16,234
固定資産除却損	14,189	3,332
賃貸収入原価	9,587	11,774
その他	6,411	274
営業外費用合計	33,115	31,614
経常利益	374,646	260,724
税金等調整前四半期純利益	374,646	260,724
法人税、住民税及び事業税	132,197	76,820
法人税等調整額	11,435	12,204
法人税等合計	120,762	89,025
四半期純利益	253,884	171,700
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	4,490	3,476
親会社株主に帰属する四半期純利益	249,394	175,176

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	253,884	171,700
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	475	1,202
為替換算調整勘定	56,634	215,708
退職給付に係る調整額	12,413	6,624
その他の包括利益合計	43,745	221,131
四半期包括利益	297,630	392,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,659	395,605
非支配株主に係る四半期包括利益	30	2,775

【注記事項】

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形等の処理

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、下記の四半期連結会計期間末日満期手形等を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
受取手形及び売掛金	5,170千円	425千円
支払手形及び買掛金	67,194千円	63,645千円
流動負債 その他(未払金)	-千円	1,250千円
流動負債 その他(設備関係支払手形)	38,300千円	69,700千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
減価償却費	313,490千円	421,605千円
のれんの償却額	434千円	-千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年6月23日 定時株主総会	普通株式	123,254	6.00	2017年3月31日	2017年6月26日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額については、基準日が2017年9月30日であるため、2017年10月1日付の株式併合前の金額を記載しております。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月22日 定時株主総会	普通株式	123,243	60.00	2018年3月31日	2018年6月25日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、自動車部品製造事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	121円41銭	85円28銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	249,394	175,176
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	249,394	175,176
普通株式の期中平均株式数(株)	2,054,229	2,054,045

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額および普通株式の期中平均株式数を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年7月30日

フジオーゼックス株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水 上 圭 祐 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 酒 井 博 康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジオーゼックス株式会社の2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2018年4月1日から2018年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジオーゼックス株式会社及び連結子会社の2018年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。